

能登地区訪問にいたるまで 一人ひとり、できることから

9月9日石川県商工会議所女性会連合会会員大会のパネルディスカッションで能登半島地震の深刻な被災状況を改めて伺い、さらには9月21日の令和6年奥能登豪雨を受けて、当会正副会長、委員長および加賀地区の各会長が、10月8日能登地区を激励・訪問しました。

現地では「買って応援、食べて応援」を実践するとともに、会員大会物産展の金沢ブース売上金等を支援金として珠洲、輪島、七尾の各女性会に10万円ずつお渡ししました。

物産展 売上	現金	255,500円
	500円券	27,500円
募金箱		24,000円
合計		307,000円

7,000円は現地経費の一部に使用

	<p>9/9 石川県商工会議所女性会 連合会 会員大会 パネルディスカッション 登壇者ご紹介</p>	<p>10/8 能登地区訪問 金沢:橋本会長、水上・藤井両副会長 中宮研修委員長、馬場交流委員長 白山:田中会長 小松:嵐 会長 加賀:小新会長</p>
<p>珠 洲</p>	<p>副会長 瀬戸 裕喜子 氏 (瀬戸電気商会) 電気店を営みながら、市内でも被害が大きかった地区で、発災日より避難所にて被災者の支援に携わる。仮設住宅ができた現在もボランティアで被災者の見守りなどで奔走中。</p>	<p>道の駅すずなり敷地内「すずなり食堂」にて珠洲の竹澤会長、瀬戸副会長と懇談。会員大会の席上で、珠洲の中板副会長より、「ぜひ、福幸井(ふっこうどん)を食べにきて、能登を忘れないで」との呼び掛けがありましたので、昼食には被災した料理人の方々の復興への願いが込められた『福幸井』をいただきました。</p>   
<p>輪 島</p>	<p>復興委員会委員長 塩土 純永 氏 (藤八屋 女将) 全焼した塗師屋 藤八屋の震災発生直後から現状までを説明。現在は輪島塗業界全体の復興に向けて「個店の再生・漆器産地の再生・輪島の再生」を目指し活動中。</p> <p>副会長 伊藤 三津子 氏 (医)伊藤医院 理事) 経営する医院から医療用品を避難所に持参し、限られた設備の中、けが人や体調不良の方の手当をされた。医者が在中している唯一の避難所としての活動を説明。現在も復興に向けて避難所の運営等に尽力。</p>	<p>道の駅輪島「ふらっと訪夢」にて輪島の澤田会長、岩多副会長、小路副会長と懇談。懇談後、前日に公費解体に着手したばかりの輪島塗老舗「五島屋」ビルや、大規模火災に見舞われた「輪島朝市通り」を視察しました。</p>  
<p>七 尾</p>	<p>副会長 森 浩子 氏 (加賀屋グループ第二営業部長) 加賀屋グループにおける地震発災後の宿泊客の避難誘導・避難所での対応・お見送りまでを説明。現在は社員100名が全国各地の outgoing 先で、さらにスキルを磨きながら、加賀屋の再建を待つ。</p>	<p>七尾商工会議所にて七尾の沢野会長、木下・田中両副会長、木下名誉顧問と懇談。懇談後、一本杉通りで仮店舗にて商売をされている高澤ろうそく店を訪問。続いて、和倉温泉地区をバス車中より見学しました。</p>  